

# 1章 村の概要

## 1節 自然環境

### 1位置・面積

- ・日高山脈から見た位置、隣接する町村
- ・図<十勝総合振興局内の位置>
- ・面積(測量方法の変更により H26 年に変更あり)
- ・空港等からのアクセス
- ・土地利用
- ・表<地目別面積>

### 2気候・気象

- ・気温、日照時間(十勝晴れ)、降水量、風向・風速など
- ・図<気温・降水量・晴天日数の推移グラフ 過去 30 年分>
- ・農業や生活への影響(日高おろし、ひかた風、黄砂、高温、豪雨)

### 3地質・地勢

- ・日高山脈の隆起による土地形成
- ・カール、火山灰土、断層、岩石、標高
- ・図<中札内村周辺の地形図>

### 4動植物

#### 【動物】

- ・ヒグマ、エゾシカ、キタキツネ、アライグマ(有害鳥獣)・・・個体数、出没状況、駆除の状況など
- ・表<捕獲実績>
- ・エゾリス、ハクチョウ、エゾユキウサギ(身近な生物)・・・個体数、出没状況など
- ・ニジマス、オシロコマ、ヤマベ(川の生物)・・・特徴など軽く触れる程度
- ・エゾサンショウウオ(両生類)、カラフトルリシジミ(昆虫、天然記念物)⇒希少性、保護活動

#### 【植物】

- ・カシワ、スズラン、ケシヨウヤナギ、カラマツ、シラカバ⇒分布、植樹など軽く触れる程度

## 2 節 人口

### 1人口の推移

- ・道内で最も人口の多い村
- ・開村時からの増減とその要因(ダム工事、分譲、子育て支援、移住・定住政策)
- ・世代ごとの人口分布、高齢化率
- ・表<総人口と世帯数の推移>
- ・表<人口 年齢3区分別>

### 2産業別人口

- ・産業別人口の特徴 基幹産業は農業
- ・産業大分類ごとの年齢別就業者数
- ・表<産業別就業者数の推移>

## 2 章 村の略史

### 1 節 明治～大正

#### 1 入植

- ・安政五年(1858年) 松浦武四郎の調査 西札内付近に宿泊 西札内桜公園に歌碑
- ・明治2年 箱館戦争の終結後 蝦夷地を北海道と改称し 11国86郡を置く  
十勝は7郡(広尾・当縁・十勝・中川・河東・河西・上川)
- ・明治16年 晩成社一行が下帯広村(現帯広市)に移住し開墾を開始
- ・明治38年に中札内村の開拓開始 上丸弥次郎の入植 当時の様子など

#### 2 分村の経緯

- ・明治35年 北海道二級町村制により幸震村<sup>きつない</sup>が村制施行
- ・大正4年 幸震村<sup>うりかり</sup>・売買村・上帯広村が合併して大正村に(二級町村)
- ・大正13年 売買地域が川西村として独立
- ・大正15年 幕別村の一部(現更別村、上途別、古舞)が大正村に編入
- ・昭和22年 大正村が分村して中札内村が誕生 村名の由来

### 2 節 昭和

#### 1 中札内村の誕生

- ・昭和22年 中札内村の誕生 当時の戸数、人口など
- ・初代村長 田島 豊次郎の選出
- ・昭和22年 第1回村議会(さく屋旅館)
- ・行政組織の始まり 役場職員 16人でスタート
- ・昭和23年 最初の役場庁舎 元西札内小学校を移転 昭和43年新庁舎へ

#### 2 村の礎

##### 【農業の基盤整備】

- ・昭和22年 農地改革の事務遂行をする農地委員会 ⇒昭和26年に農業委員会へ
- ・昭和23年 中札内農業協同組合の独立 翌月に中札内村農業共済組合設立
- ・昭和46年 道営畑地帯総合土地改良事業(農道整備、客土、明渠排水など)

### 【インフラ整備】

- ・昭和 26 年 中札内国保診療所新築(前身は昭和 21 年開設の中札内厚生診療所)
- ・昭和 27 年 中札内私立保育園開園 ※中札内保育所は昭和 44 年
- ・昭和 27 年 教育委員会設置
- ・昭和 29 年 小水力発電所「農協ダム」が完成 翌年消滅
- ・昭和 33 年 農村電話の施設運用開始
- ・昭和 37 年 国道 236 号中札内市街舗装完成
- ・昭和 39 年 中札内橋(永久橋)竣工
- ・昭和 40 年 上札内橋(永久橋)竣工、道道中札内停車場舗装完成
- ・昭和 51 年 林野庁が南札内溪谷札内川園地を指定 本格的な開発を開始
- ・昭和 54 年 中島地区営農用水 浄水場施設完成
- ・昭和 61 年 社会福祉法人ポロシリ福祉会設立、中札内のぞみ園開設
- ・昭和 62 年 国鉄広尾線廃止に伴い十勝バス広尾線開始、バス待合所完成
- ・図<中札内村近郊の道路、旧国鉄広尾線の路線図>

### 【市街地の発展】

- ・昭和 24 年頃 自主的な商工会の結成 昭和 36 年に法人登記
- ・市街地のはじまりと発展の様子(上札内、中札内、大島私設市街)
- ・図<当時の市街地図>

## 3節 平成初期

### 1花のむらづくり

- ・昭和 50 年に花いっぱい運動開始、昭和 56 年花づくりサークル「すみれ会」が発足
- ・内閣総理大臣賞などを受賞
- ・平成元年 元大正と桜ヶ丘団地をモデル地区に指定
- ・平成 2 年 西札内の桜山に植樹 花の名所復活を図る
- ・平成 11 年 第 1 回中札内ガーデニングコンテスト開催(第 4 回から「花フェスタ」に)
- ・中札内高等養護学校が花づくりのためのクラウドファンディングを実施

### 2村のイメージアップ推進

- ・「自治体 CI」の推進 村の観光計画書に記載あり

- ・平成 3 年 シンボルマーク、キャッチフレーズ、イメージカラーを決定
- ・平成 4 年 イメージアップ推進委員会発足  
シンポジウム、農村景観ガイドプラン、景観ポイントに看板設置などの活動
- ・西札内のファームサイン、メインストリートの平板ブロック(ピータン)などの環境整備
- ・平成 4 年 坂本直行記念館(美術村の全身)オープン、農村休暇村の建設開始

### 3道の駅なかさつないの発展

- ・平成 5 年 アグリパークの整備 ドライバーの休憩場所、文化・歴史・自然を感じる場所
- ・平成 6 年 カントリープラザ 観光情報発信と農畜産物加工の研修
- ・平成 8 年 道の駅に指定 開拓記念館、直売所 道の駅フェア
- ・平成 17 年 リニューアルオープン